

# デジタル田園都市国家構想交付金事業 実施状況説明書

## 目 次

- ・（仮称）かつうら海中公園再生計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ・ まち・ひと・しごと創生推進計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ・ 暮らしを支える地域モビリティ・ミックス推進事業・・・・・・・・・・ 8
- ・ スマート窓口（書かない窓口）システム構築事業 ・・・・・・・・・・ 13
- ・ ホームページへのA I チャットボットの実装事業 ・・・・・・・・・・ 16
- ・ LINE を活用した情報総合窓口の整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

(仮称) かつうら海中公園再生計画 【評価 C】

担当課：観光商工課

実績額 410,663,000円 (うち交付金 199,734,000円)

## 1. 事業の目的・概要

海水浴場を中心とした夏季観光から通年型観光への転換が求められるなか、滞在型観光施設を整備し、魅力的な観光地の基盤づくりを強化することにより、観光産業、農林水産業等の振興を図ります。

## 2. 事業の内容

かつうら海中公園滞在型観光施設建設事業 410,663,000円

- ・設計費 22,000,000円
- ・施工費 379,203,000円
- ・工事監理費 9,460,000円

### (1) 施設概要

名称 かつうら海中公園滞在型観光施設 eden (エデン)  
位置 勝浦市吉尾234番地  
敷地面積 1379.23㎡  
構造 鉄筋コンクリート造  
階数 3階  
建築面積 336.10㎡  
延床面積 730.10㎡  
管理運営 指定管理者による管理運営  
【指定管理者】 東京都港区西麻布1丁目10番2号  
ソルト・コンソーシアム株式会社



1階：レストラン



1階：物販コーナー



3階：スパエリア



3階：スパエリア



2階：機械室



外 観

## (2) 事業経過

令和3年 5月 7日	(仮称) かつうら海中公園滞在型観光施設建設事業プロポーザル審査委員会開催
令和3年 5月13日	建設工事請負契約（設計施工一括方式） 受 注 者：東京都墨田区向島1丁目33番12号 東武建設・石井建築事務所共同企業体 設 計 期 間：令和3年5月21日～令和3年7月30日 施 工 期 間：令和3年7月1日～令和4年3月18日 工事監理期間：令和3年7月1日～令和4年3月18日
令和3年11月24日	かつうら海中公園滞在型観光施設指定管理候補者選定委員会
令和3年12月16日	指定管理者の指定議決
令和4年 3月18日	工期延長（地中障害撤去等に時間を要したため） 変更後の工期 ～令和4年6月30日
令和4年 6月30日	工期延長（梅雨による天候不良のため） 変更後の工期 ～令和4年7月15日
令和4年 7月 6日	工事完成
令和4年 7月30日	業務開始

### 3. 本事業における重要業績評価指標（KPI）

	指標名	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
KPI①	施設利用者数 (人)	60,000	27,229	70,000	33,757	85,000	38,760
KPI②	旅行消費単価 (円)	11,700	7,800	11,800	9,276	11,900	10,074
KPI③	朝市観光客 (人)	82,000	53,037	87,000	99,126	93,000	152,580

#### 目標の達成等を阻害する要因及び状況の変化・目標達成に必要なこと(要因・課題)

##### 【要因】

KPI①の施設利用者数については、メディアなどを活用したPR活動により増加傾向であるものの、周辺施設である「かつうら海中公園」及び「勝浦朝市」の入込客数が、コロナ禍前を超える数値となっているなか、来客層の相違により、本施設への取り込みができていないものとする。

KPI②の旅行消費単価については、コロナ禍後の観光入込客数は増加傾向ではあるものの、主に日帰り客であり、宿泊客数の増加は小幅なものとなっていることが目標値に届かない要因となっていると考える。

##### 【課題】

施設本来の魅力を引き続きメディア等を活用し周知することで、コロナ禍後増加している「かつうら海中公園」及び「海の博物館」の来客層を取り込みつつ、朝型コンテンツである朝市等と組み合わせた観光周遊を促進することにより、滞在時間の延長、消費機会の創出を図ることが重要と考える。

#### 要因・課題を踏まえた具体的な取組(改善策・取組方針)

「かつうら海中公園」、「海の博物館」、観光関係団体、地域住民との協議・連携を行うとともに、周辺施設の来客層に合わせたレストランメニューの提供のほか、市民利用促進の取組を実施することで、新たな客層の取り込みにつなげる。

また、観光コンテンツのパッケージ化の推進や、情報発信の充実を図ることで、観光周遊を促進し、地域全体の活性化及び観光振興を図り、旅行消費単価の増大につなげる。

委員評価	かつうら海中公園における観光客については増加傾向にあるが、総合的に見ると一部分の増加に過ぎないところがある。全体的に観光客が観光関連施設、商業施設を利用するような施策が今後必要となってくる。
------	---



まち・ひと・しごと創生推進計画 【評価 C】

担当課：企画課

## 1. 事業の目標

勝浦市の人口は、昭和33年の31,400人をピークに減少し続けており、令和2年4月1日現在の人口は17,092人まで減少している。国立社会保障・人口問題研究所が平成30年3月に公表した推計によると、本市の人口はさらに減少傾向が続き、令和27年（2045年）には8,858人まで減少するとされている。

年少人口・生産年齢人口は減少し高齢人口は増加傾向で推移するとみられ、令和27年（2045年）には生産年齢人口約1.4人で1人の高齢者を支えることになると推測され、人口構成も少子高齢化が一層進展することが見込まれる。

人口減少が本市に与える影響は、消費市場の規模縮小だけではなく、労働力不足、需給両面において地域経済を縮小させる大きな要因となっており、こうした地域経済の縮小は、市民の経済力の低下につながり、また、高齢化の進展も重なることで、地域社会の様々な基盤の維持が困難な状況になっていくことが懸念される。

これらの課題に対応するため、本計画期間において下記のとおり政策分野ごとに基本目標を掲げ、人口減少を緩和させる。

## 2. 基本目標

- ・基本目標1：安定して働くことができる場の確保
- ・基本目標2：新しい人の流れや関係づくりの構築
- ・基本目標3：子どもを産み育てる環境の充実
- ・基本目標4：ひとが行き交い、暮らしやすい地域の実現

## 3. 事業の内容

### 【基本目標1】安定して働くことができる場の確保事業

#### ○具体的な事業

- ・新規就農者及び後継者の確保・育成の支援
- ・商工会と連携した商店街の活性化 等

### 【基本目標2】新しい人の流れや関係づくりの構築事業

#### ○具体的な事業

- ・かつうら海中公園再生計画事業
- ・移住ポータルサイトやSNSによる移住地としての魅力発信 等

【基本目標 3】子どもを産み育てる環境の充実事業

○具体的な事業

- ・婚活支援体制の充実
- ・不妊治療を受けている世帯への支援 等

【基本目標 4】人が行き交い、暮らしやすい地域の実現事業

○具体的な事業

- ・公共交通空白地域の解消への取組
- ・芸術文化公演の開催 等

4. 本事業における重要業績評価指標（KPI）

	指標名	令和 2 年度	令和 6 年度	
		計画開始時現状値	目標値	実績値
KPI① 【基本目標 1】	個人住民税所得割納税義務者数（人）	6,922人	6,670人	6,186 人
KPI② 【基本目標 2】	人口の社会増減数（人）	△112人	△505人	△70 人
KPI③ 【基本目標 3】	年少人口割合 〔0～15 歳未満〕（人）	1,195人	956人	892 人
KPI④ 【基本目標 4】	人口（人）	17,055人	15,628人	15,033 人

【計測手法】

- ①税務課：実績値
- ②千葉県毎月常住人口調査報告書
- ③市民課：人口統計推移
- ④千葉県毎月常住人口調査報告書

目標の達成等を阻害する要因及び状況の変化・目標達成に必要なこと(要因・課題)

【要因】

人口減少が本市経済に与える影響は、消費市場の規模縮小だけではなく、労働力不足、需給両面において地域経済を縮小させる大きな要因となっている。地域経済の縮小は、市民の経済力の低下につながり、高齢化の進展も重なることで地域社会の様々な基盤の維持が困難状況になっていくことが懸念される。

「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という悪循環に陥っている状態にある。

### 【課題】

急激な人口減少を克服し、本市経済社会の維持・発展を成し遂げるために、行政と市民が危機感と問題意識を共有しつつ、国・県・近隣市町と連携しながら活力ある地域社会の形成に向けて、一体的・持続的に取り組むことが重要。

#### KPI①：個人住民税所得割納税義務者数

勝浦市に住み続けるために、地域社会が持続するための基礎であり、地域経済の活力となる「安定して働くことができる場の確保」が必要なものの一つとして考えられる。

#### KPI②：人口社会増減数

人口減少社会は、地域の活力の衰退につながるため、持続可能な地域社会を構築するためには、新しい人の流れや他の地域の人との関係づくりが必要。

#### KPI③：年少人口割合

子ども一人ひとりを地域全体で大切に育むという考えのもと、子どもを産みたいと願う人が安心して産み育てることができるよう、結婚から妊娠、出産、子育てまでの各ライフステージに応じた切れ目ない支援が必要。

#### KPI④：人口

勝浦市に住み、住み続けるために多くの人が暮らしやすいと感じることが重要。

### 要因・課題を踏まえた具体的な取組(改善策・取組方針)

地域に働く場を確保することにより、大都市圏等への若者の流出に歯止めをかけるとともに、UIJ ターンによる人口増加を目指す。

温暖な気候や豊かな自然環境などの地域の魅力をアピールすることにより、「移住」や「観光」といった「交流人口」の拡大による地域活性化や経済振興を推進し、様々な形で関わりを持っていただくことにより「関係人口」の拡大を目指す。

地域で働きながら希望に沿った出会いや結婚・出産・子育てを行い、安心して快適に生活することができる環境づくりを目指す。

学校教育や生涯学習、芸術文化活動やスポーツ活動等を通じ、すべての世代が心豊かに健やかな暮らしを実現できる魅力ある地域づくりを目指す。

#### KPI①：個人住民税所得割納税義務者数

地場産業である農業や水産業、歴史ある商工業の活性化、豊かな自然を活かした観光振興を促進することにより、雇用の創出につなげるとともに、社会経済環境の急激な変化にも耐えることができる地域産業構造の構築を目指す。

#### KPI②：人口社会増減数

観光における滞在時間の延長や交流人口の増加に繋げるため、温暖な気候や豊かな自然な

どの地域資源を活かした通年型の観光振興を図る。

移住地としての本市の魅力をアピールしつつ、移住・定住を促進する仕組みを構築するとともに、ふるさと納税制度の活用による新たな関係づくりを推進し、新しい人の流れが生まれる地域づくりを目指す。

#### KPI③：年少人口割合

子どもを産みたいと願う人の不安や経済的負担の軽減を図り、子育てしやすい環境の整備を進めることにより、年少人口割合の急激な減少を抑えつつ、人口構造の安定による持続可能な地域づくりを目指す。

#### KPI④：人口

安心・安全な暮らしを目指した上で、豊かな自然と地域固有の歴史・文化などを活かした様々な活動が盛んに行われるような環境づくりを促進し、多くの「ひと」が訪れ、思い思いに人々が交流する賑わいあるまちづくりを目指す。

ライフステージに応じた各種スポーツ教室などの内容を充実させ、子どもから高齢者まで心身ともに健やかに暮らせるような取組みを推進する。

#### 委員評価

当市における人口が年々減少しているなかで、どのような施策を行えば歯止めが掛かり、人口維持または増となるか。関係課一体となり、子育て世帯の移住や住みやすい環境を求めて移住してきた者を定着させるための基盤維持に努める必要がある。



暮らしを支える地域モビリティ・ミックス推進事業 【評価 C】

担当課：企画課

実績額12,199,161円（うち交付金6,099,580円）

1. 事業の目的・概要

地域モビリティ推進事業は、昨今の急速な高齢化の進展や運転免許証返納者の増加等に伴う公共交通による移動ニーズに対応するため、デジタル技術の活用による運行の効率化や、新たな交通体系としての自家用有償旅客運送の導入など、課題解決に向けた新たな取組を実施することにより利便性の高い公共交通網の形成を目指すことを目的とする。

- 公共交通空白地の解消
- 夜間の移動手段の確保による地域住民の安全確保及び観光振興
- モビリティ・マネジメントの推進による公共交通の利用促進
- 運行管理におけるデジタル技術の導入による利便性向上

2. 事業の内容

地域モビリティ推進事業 12,199,161円

1. 移動手段の確保利便性の向上【9,801,161円】

（1）公共交通不便地域の解消に向けた新たな公共交通の運行

勝浦市内では現在、鉄道・路線バスに加え、タクシーやデマンドタクシーなどの公共交通により住民の移動を支えています。高齢化に伴う運転免許返納者の増加も予想される中、住民の移動手段の確保が課題となっています。特に、自家用車を持たない高齢者にとって、公共交通は生活に必要な不可欠なサービスであり、これまでもデマンドタクシーの導入などの施策に取り組んできましたが、今回デジタル技術の活用により、さらなる公共交通の空白地域を解消するため、自家用有償旅客運送制度に基づく共助型公共交通の運行を導入しました。

「ノッカルかつうら」は、勝浦市を運行主体とし、まずは総野地区の一部地域にて令和7年3月26日より実証運行を開始し、令和7年度内の本格運行を目指しています。本サービスは、勝浦市が認定したドライバーとユーザーを、システム上でマッチングし、ドライバーが自家用車でユーザーを目的地まで送迎する仕組みで、住民同士の助け合いによる新たな移動手段で完全予約型の乗合交通となっており、予約は、LINEや電話で手軽に行うことができ、停留所はバス停など既存の仕組みを活用する設計で運用しています。

- ・実証運行開始日：令和7年3月26日（水）【以後毎週水曜日・金曜日運行】
- ・運行エリア：蟹田、松野、中倉、市野川、花里地域
- ・利用料金：実証期間中は無料

- ・利用者登録：12名
- ・ドライバー登録：3名

## (2) 夜間における移動手段の確保

通勤・通学のため電車を利用する市民の自宅までの移動手段や、飲食店を利用した観光客の宿泊施設までの移動手段など、夜間における安全かつ効率的な移動手段の確保のため、タクシー事業者と連携し、夜間時間帯における運行体制を整備した。

### 【夜間タクシー運行体制確保業務】

運行期間：令和6年7月1日から令和7年3月31日までの間の木曜日、金曜日、土曜日及び年末年始の121日間

業務時間：午後10時から午前0時15分まで

運行台数：1日あたり2台

運行実績：運行日数119日、運行回数542回、乗車人数819人

## 2. モビリティ・マネジメントの推進【2,398,000円】

### (1) 持続可能で利便性の高い交通網の形成に向けた検討

#### ①地域公共交通活性化協議会の運営支援及び地域公共交通計画の進捗評価・見直し

地域の実情に応じた輸送サービスの実現のため「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき設置された地域公共交通活性化協議会の、活発な意見交換による機能強化のための運営支援や、地域公共交通計画に掲げる事業の進捗評価による計画推進を図るとともに、社会情勢等に応じた計画の見直しを行うことで、持続可能で利便性の高い交通網の形成を促進した。

### (2) 公共交通の利用促進に向けた取組

#### ①公共交通を利用したお出かけツアーの実施（中止）

日常生活において主に自家用車を利用する市民等を対象に公共交通を利用したお出かけツアーを実施することで、公共交通における地域課題を共有するとともに、地域資源としての公共交通の有用性の理解促進を図るため、市内の小学生とその家族を対象とし、JR・いすみ鉄道・小湊鉄道の公共交通を乗り継ぎ、各種体験をする「お出かけツアー」を企画し参加募集したところ、6組17名に参加申込をいただいたところですが、令和6年10月4日いすみ鉄道において発生した脱線事故により、運行再開の見通しが立たないことからツアーを中止いたしました。

#### ②モビリティ・マネジメントに関するセミナーの実施（令和7年2月17日開催）

市民や市内事業者を対象にしたモビリティ・マネジメントに関するセミナーを実施し、移動手段を過度に自家用車に頼る生活スタイルの見直しによる交通インフラの重要性や利用促進のほか、健康増進や環境対策として求められるCO2排出抑制に対する認識を深めるとともに、公共交通の現状や課題及び勝浦市において実証運行を行う自家用有償旅客運送の先進地事例について学び、地域住民や交通事業者を始めとした多様な主体との連携・協働を図りながら新たな移動手段について構築していくことを学んだ。

【内容】参加者：21名

- ・勝浦市地域公共交通計画の紹介
- ・講演「公共交通のメリット・デメリット／公共交通のトレンド」
- ・講演「マイカー公共交通“ノッカル”の取組」
- ・アンケート

**勝浦市地域公共交通  
お出かけツアー  
参加者募集!!**

鉄道とバスを乗り継いで行く！公共交通の大冒険！

**第1回 10/19 土**  
**第2回 11/23 土**

**対象**  
勝浦市内の小学1～6年生とそのご家族

**定員**  
各回 5組10人程度  
※定員を超えるお申込みがあった場合、抽選で参加者を決定します。

**参加費**  
参加費はありませんが、交通費及び昼食代はご自身でご負担ください。  
※交通費（大人）1,320円（子ども）670円  
※昼食はいすみ鉄道のお弁当（1人約1,000円前後）を事前希望制でご用意します。

**お申込み方法**  
■期間  
9/19（木）～10/7（月）正午  
■方法  
右記QRコードのフォームよりお申込み下さい。  
※参加の可否は10月上旬頃にメールにて通知いたします。

**ツアー行程**  
バスや電車をより身近に感じ、公共交通を生活に取り入れていきましょう。

8:30 勝浦駅集合  
JR東日本 乗り方教室&駅員体験 等  
9:45 勝浦駅前  
9:59 大原駅前  
10:28 大原駅前  
10:59 大原駅前  
いすみ鉄道 乗り方教室&大町打ち（※）体験 等  
※レールを固定するための大きな釘を打ち込みます。  
12:10 昼食  
小栗鉄道 乗り方教室&運転手体験・洗車体験 等  
14:25 大原駅前バス停  
14:58 勝浦駅前  
15:30 振り返り・解散  
※天候等により、一部行程に変更の可能性がございます。  
※車でお越しの場合は、勝浦市西駐車場をご利用下さい。

■問合せ先  
(主催) 勝浦市役所 企画課 政策推進係  
(企画・運営) ランドブレイン株式会社 都市政策グループ (担当: 佐久間) 0470-73-6654  
03-3263-9386

**勝浦市モビリティ・マネジメント  
に関するセミナーを開催！**

～セミナーの参加者を募集します！～

今後、公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段（モビリティ）を上手に利用していきえるように取り組む必要があります。  
この度、市民や市内事業者等を対象にしたモビリティ・マネジメントに関するセミナーを実施します！是非ご参加ください!!

**開催日程**  
2025年2月17日（月）  
13:30～15:15（受付開始13:00）

**開催場所**  
勝浦市役所4階大会議室  
（千葉県勝浦市新官1343-1）

**プログラム（予定）**

13:30	開会（セミナーの趣旨説明）
13:35	勝浦市地域公共交通計画の紹介
13:45	講演「公共交通のメリット・デメリット／公共交通のトレンド」 〈講演者〉日本大学理工学部交通システム工学科 特任教授 藤井敬宏氏
14:15	講演「マイカー公共交通“ノッカル”の取り組み」 〈講演者〉株式会社博覧堂
14:45	質疑応答・意見交換
15:00	閉会・参加者アンケート
15:15	終了

**参加のお申込みについて**  
【受付期間】 2025年2月12日（水）正午まで  
【対象】 勝浦市民、勝浦市内事業者  
【申込方法】 下記URLまたは右記QRコードのお申込みフォームより必要事項を入力の上、お申込みください。  
<https://forms.gle/47P2FL7irLZNRt8>  
※お電話でのお申込みも受け付けます。

たくさんのご参加  
お待ちしております!!

【問い合わせ先】  
(主催) 千葉県勝浦市 企画課 政策推進係  
(企画・運営) ランドブレイン株式会社 都市政策グループ (担当: 佐久間) 0470-73-6654  
03-3263-9386

## ※デジタル技術の活用による利便性の向上

### ①デマンドタクシーにおける運行管理システムの導入

デマンドタクシーの運行区域の拡大や乗降ルールの変更を検討する中において、オンライン予約やAIルート検索等のデジタル化に対応した運行管理システムを導入し、利用者の利便性向上及び効率的な運行を図ることを目的とし、令和6年5月20日に「勝浦市デマンドタクシー運行管理システム業務委託に係るプロポーザル審査会」を実施し、優先交渉権事業者と業務仕様書に基づき契約に向け交渉及び協議等を行って参りましたが、AIを活用した効率的な自動配車や自動ルート生成など運行効率を向上させる機能について、本市の求める業務の実施は困難と判断し、令和6年9月3日に交渉を終了したため、令和6年度においてはデマンドタクシーにおける運行管理システムは導入しておりません。

### 3. 本事業における重要業績評価指標（KPI）

	指標名	計画策定時	令和6年度		令和7年度	令和8年度
		実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
KPI ①	地域の人口・世帯数 (人)	15,871	15,483	15,033	15,095	14,707
KPI ②	人口における社会増減数 (人)	△78	△58	△70	△28	2
KPI ③	市内路線バス利用者数＋ デマンドタクシー利用者数 ＋新たに導入された公共 交通の利用者数 (人)	57,739	58,889	57,406	60,189	60,839
KPI ④	旅行消費単価 (円)	7,800	8,000	10,074	8,200	8,400

#### 【計測手法】

- ①千葉県毎月常住人口調査報告書
- ②千葉県毎月常住人口調査報告書
- ③市内路線バス利用者数＋デマンドタクシー利用者数＋新たに導入された公共交通の利用者数
- ④旅行者へのアンケート調査による分析

#### 目標の達成等を阻害する要因及び状況の変化・目標達成に必要なこと(要因・課題)

##### 【要因】

KPI①の地域の人口・世帯数については、本事業の推進により公共交通の利便性が向上されることに伴い移住・定住の促進が図られ、人口・世帯数の減少速度を緩やかにしていく目標値となっているものの、実績値としては、目標値より下回っている。KPI②の人口における社会増減数についても、人口同様に目標値より下回っている。KPI③の各種公共交通の利用者数については、目標値をやや下回っており、要因としては、市内路線バス利用者数が前年度比1648人の減(R6.10から減便あり)及び自家用有償旅客運送の実証運行が年度末となったことによるものである。KPI④の旅行消費単価については、目標値を大きく上回っており、旅行者の市内滞在時間の延長及び観光客入込客数の増加によるものと考えられる。

##### 【課題】

新たに導入された公共交通である自家用有償旅客運送の実証運行に向け、地元説明会を実施したものの、参加者数が少なかったこともあり、実証運行地域における制度概要等の認識不足が課題である。

#### 要因・課題を踏まえた具体的な取組(改善策・取組方針)

より一層のモビリティ・マネジメントを推進することにより地域全体で「つくり・守り・育てる」という機運を醸成し、地域に根ざした利便性の高い交通網の構築を推進していく必要がある。

具体的な取組としては、事業者と連携し、利用実態動向とニーズ把握に努め、広報やホームページ等を活用し周知を図るとともに、デマンドタクシーや自家用有償旅客運送の利用説明会を行うなど、継続的な啓発を実施し利用促進につなげる。



---

委員評価	<p>高齢者率や運転免許証返納者の増加に伴い公共交通の市内全域への普及が求められているなか、地域モビリティ推進事業の推奨により新たな交通体系としての導入により、利便性の高い公共交通網の形成を目指していく。</p>
------	--

# デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプTYPE1）

## スマート窓口（書かない窓口）システム構築事業 【評価 C】

担当課：情報政策課

実績額 30,258,089円（うち交付金15,129,044円）

### 1. 事業の目的・概要

市民課窓口を中心に、申請・届出等の業務においては、各種制度の複雑さなどから、それらの手続きが煩雑化しており、申請書1枚への記載であっても、個別の支援が必要となるケースが多く、窓口の対応が課題となっている。






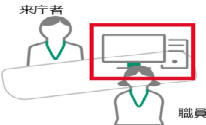


この課題に対し、マイナンバーカードの活用を含めた「書かない窓口」を実現することで、市民の窓口滞在時間が短縮され、市民のタイムパフォーマンスと市民サービスの向上を図り、魅力ある持続可能な地域の確立につなげる。

### 2. 事業の内容

複数のICTを活用した「書かない窓口」の実現

#### （1）異動受付・申請書作成支援システム

- ・転出証明書やマイナンバーカード等をOCR機能でスキャンし、システム上で、市民が記載する必要のある各種申請書等の自動作成を行う。
- ・申請手続きのために来庁した市民に対し、申請書等の記載が不要となり、手書きの負担を軽減する。

異動手続きの流れ		市民課		他課	
		記載台	住民異動窓口		他課窓口
異動手続きの流れ	導入前	<div><p>来庁者</p><p>異動届・申請書を記入</p></div>	<div><p>来庁者</p><p>職員</p><p>職員による内容確認 住民が修正・補記</p></div>	<div><p>追加の申請書を記入</p></div>	<div><p>異動届・申請書を記入</p></div>
	導入後	<div><p>記入不要</p><p>異動届・申請書の記載不要</p></div>	<div><p>来庁者</p><p>職員</p><p>職員がデジタルで書類作成 ・確認時間短縮 ・住民による補記・修正なし</p></div>	<div><p>記入不要！</p><p>追加申請書の記載不要</p></div>	<div><p>記入が楽に！</p><p>一部項目（住所・氏名）が 記載不要</p></div>

#### 【対象となる主な手続き】

- 市民課 住民票の写し、印鑑証明書、戸籍謄抄本、住所異動届（転入転出等）、国民健康保険・後期高齢者医療保険の一部手続き
- 福祉課 子ども医療費助成申請書、障害者手帳交付申請書
- 高齢者支援課 介護保険負担限度額認定申請書、高齢者タクシー利用料助成申請書
- 税務課 所得証明書、納税証明書

## (2) スマホを活用したナビゲーション・Web申請システム

- ・スマホを使用して、市民が来庁前に事前に申請書等をスマホ内で作成し、QRコード化を行い、窓口を持参することで、申請書等に記載せず、スムーズな窓口手続きを実現する。
- ・申請手続きのために来庁した市民に対し、申請書等の記載が不要となり、手書きの負担を軽減する。



## (3) コンビニ交付を活用した証明書等自動交付機

- ・コンビニ交付対応の証明書等自動交付機を市役所内に設置し、マイナンバーカードを活用した証明書の自動発行により、さらなる「書かない窓口」を実現する。
- ・同自動交付機を市内5か所のコンビニに設置していることから利便性の向上を図る。



## 3. 本事業における活動指標（KPI）

	指標名	単位	令和5年度		令和6年度	
			目標値	実績値	目標値	実績値
KPI ①	異動受付・申請書作成支援システムの利用件数	件	210	1,280	960	5,401
KPI ②	スマホを活用したナビゲーション・Web申請システムの利用件数	件	65	0	260	0
KPI ③	コンビニ交付を活用した証明書等自動交付機の利用件数	件	3,000	380	4,000	2,128

※令和5年度分の実績値は令和6年1月15日からの運用開始後の数値

目標の達成等を阻害する要因及び状況の変化・目標達成に必要なこと（要因・課題）	
コンビニ交付について、申請手続の方法が分からない、取得したい証明書がコンビニ交付では対応していないなどの理由が予想される。コンビニ交付可能や取得出来る証明書の周知方法を今も行っているが、今以上に周知し理解してもらうことが必要となってくる。	
要因・課題を踏まえた具体的な取組（改善策・取組方針）	
コンビニ交付以外での請求が可能となっており、マイナポータルの普及によりスマホからの申請が可能でナビゲーション機能もあり、外出しなくても申請ができることから利用件数が伸び悩む。また、市民の方々が申請、証明書を多く対応する課には、窓口申請の時間短縮に繋がるようにパソコン等が設置されているが、利用者が少ない課が大半であるため今後の活用について検討が必要。	

.....

委員評価	<p>マイナポータルの普及により、スマホを活用したナビゲーション・Web申請システムの利用件数が伸び悩んでいるため、今後、撤退を含めて検討すること。</p> <p>自動交付機の利用件数も伸びてきているが、利用者枠の拡大を行い目標値へと近づける。</p>
------	--



## デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプTYPE1）

### ホームページへのAIチャットボット実装事業 【評価 B】

担当課：情報政策課

実績額 1,320,000円（うち交付金660,000円）

#### 1. 事業の目的・概要

ホームページにAIチャットボットを実装し、市民の疑問・問い合わせに対して24時間対応できる環境を整える。

市のサービスは広範囲に渡り、ホームページから目的の情報を検索することが難しくなっている。このためAIチャットボットを導入し、キーワードから情報を入手する手段を実装することで、24時間適切な回答を提供できる体制を構築する。

#### 2. 事業の内容

##### AIチャットボットサービス

- ・ホームページにAIチャットボットを実装し、市民の疑問・問い合わせに対して24時間対応できる環境を整える。
- ・具体的には市役所業務において、電話・メールで問い合わせを受ける内容や、窓口で受けた質問等を事前にQ&Aに登録することで、市民が必要とする情報を的確に提供する。
- ・文字だけでは説明が困難な事項については、適宜ホームページへ案内し、複雑な問い合わせについてはメール・電話を用いて、職員と直接連絡ができる体制を整える。




勝浦市 A I チャットボット - Google Chrome

share.public-edia.com/webchat/city\_katsuura/

## 勝浦市 A I チャットボット

Language



こんにちは！勝浦生まれで、勝浦育ちの「勝浦カッピー」です。  
勝浦は観測史上一度も猛暑日（35度以上）を記録したことがない街なんですよ！

AIチャットボットでは、皆様からの質問にAI（人工知能）が24時間365日お答えします。  
まだまだ勉強中ですが、たくさん質問をしていただくことで、より多くの質問にお答えできるようになりますのでどんどん質問してくださいね。

ごみの分別ガイド

100年以上猛暑日知らずの街

移住定住について

ふるさと納税について

地域おこし協力隊の募集

※個人情報保護の為、特定の名前や連絡先などは入力しないで下さい。

質問を入力してください

### 3. 本事業における活動指標（KPI）

	指標名	単位	令和5年度		令和6年度	
			目標値	実績値	目標値	実績値
KPI ①	A I チャットボットの利用件数	件	12,500	1,898	25,000	18,111
KPI ②	A I チャットボットの課題解決割合	%	60	76	65	88
KPI ③	登載Q & A数	件	1,000	2,559	1,250	2,589

※令和5年度分の実績値は令和6年3月1日からの運用開始後の数値

目標の達成等を阻害する要因及び状況の変化・目標達成に必要なこと（要因・課題）
AI チャットボットの利用件数のが伸び悩んだ要因としては、市外利用者の見込み不足が要因として考えられる。勝浦市を知ってもらうことで気にかけてもらい利用者数を伸ばす。
要因・課題を踏まえた具体的な取組（改善策・取組方針）
勝浦市は、自然・食・文化がぎゅっと詰まった魅力あふれる街であることを今後も継続してアピールし、旅行先や移住候補地としても勝浦市がおすすめであることを押していくことにより、利用者の見込が予測される。

.....

委員評価	AI チャットボットの周知を行い、利用してもらうことで利便性の高さを実感してもらい、今後においても有効活用をしてもらう。また、そのためには常に様々な情報を登録する必要があるため、市役所全体でデータを整備する必要がある。
------	---

## デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプTYPE1）

### LINE を活用した情報総合窓口の整備事業 【評価 C】

担当課：情報政策課

実績額 3, 212, 000 円（うち交付金 1, 606, 000 円）

#### 1. 事業の目的・概要

本市では、市ホームページ及び広報誌を用いて情報発信を行っているが、市民それぞれの状況に合わせた情報発信が難しく、情報量が多いため見逃される懸念がある。

このことから、幅広い年齢層に利用されている LINE を活用し、より多くの市民が、適切な情報を適切なタイミングで入手できる環境とともに、通報をもたせ、双方向での情報窓口として整備し、市民サービスの向上を図る。

#### 2. 事業の内容

##### LINE サービス

- ・市公式 LINE アカウントを活用することによって、市民それぞれの状況に応じた情報を配信することを可能とする。
- ・通信機能をもたせ、双方向での情報窓口として整備し市民サービスの向上を図る。



### 3. 本事業における活動指標（K P I）

	指標名	単位	令和 6 年度		令和 7 年度	
			目標値	実績値	目標値	実績値
K P I ①	公式LINE 友だち登録者数	人	2,500	1,041	2,800	
K P I ②	LINE 公式アカウントによる情報発信回数	件	25	37.5	30	
K P I ③	オンライン申請の利用件数	件	290	794	320	

※令和 6 年度分の実績値は令和 7 年 2 月 1 日からの配信開始後の数値

目標の達成等を阻害する要因及び状況の変化・目標達成に必要なこと（要因・課題）
公式 LINE の開設については、インターネットや広報で周知しているが、まだ知らない市内住民の方や勝浦市に興味を持ってくださっている方への周知が出来ていない。
要因・課題を踏まえた具体的な取組（改善策・取組方針）
今後においても、インターネットや広報等で周知を継続して行い、観光地であることから観光ポスターの一部に LINE の QR コードなどを掲載してもらい友だち追加を手軽に行ってもらえる環境を作る。また、市役所ロビーにも周知出来るような掲示物を作成や、スマートフォン教室での LINE の利用促進などにより周知を図る。 現在、市公式 LINE の活用方法としては、ホームページに掲載した内容や防災メール情報といった情報発信のみを行っているが、今後は LINE での申請やアンケート機能など、双方向での活用についても展開していく。

.....

委員評価	登録者数増となるように、周知方法や当市の LINE 情報に興味をもってもらうように利用促進を図る。今後においても、オンライン申請なども可能であることを周知し、情報収集の場だけではないことを知ってもらう。
------	---